

大学

企画課管理用 管 ー F ー 4

推進主体	学長室経営企画課
責任者	学長室部長

分類			実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
管	ー	F	④共生社会におけるキャリア支援プログラムの実施	令和 8 年度	令和 9 年度	あり(予定)

① 目的・内容

1. 背景と課題認識
 近年、日本社会全体としては、女性の就労継続を支援する制度の整備や企業の意識変容が進展しつつあるものの、依然として企業内での性別による格差や非正規雇用に占める女性の割合の高さなど、構造的課題が残っている。
 本学の卒業生においては、女子学生が半数以上を占め、学業・人物両面で優秀な人材が多数を占めている。卒業時点では有力企業や公的機関等への就職実績も高い一方で、卒業後の中長期的キャリア形成においては、離職や非正規雇用、専業主婦化の傾向が一定程度見られる。
 こうした背景の下、本学では、学生に対するキャリア支援の質的・量的強化が急務であると認識し、令和8年度以降、全学的な取り組みとして「共生社会におけるキャリア支援プログラムの実施」を展開する。

2. 目的
 本プログラムは、以下の3点を柱として、女子学生の持続可能なキャリア形成を支援することを目的とする。
 ① 就職に対する意識改革とキャリア形成への動機付け
 ② 戦略的な就職活動に必要な知識・スキルの獲得支援
 ③ 卒業後の継続的活躍を視野に入れたキャリアパスの構築支援

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

本プログラムでは、以下の2点を目標とする。
 ①シンポジウム・講演会開催： 企業等で活躍する女性、女性が活躍している企業の人事担当者、女性活躍を支える周囲の社員による講演・シンポジウムを開催することで、自身の将来像を描く契機とするとともに、学生自身の職業観・人生観の醸成を図る。
 ②意識調査： プログラムの効果検証および今後の施策立案に資するため、本学学生(男女問わず)を対象としたキャリア観に関する意識調査を実施する。

③ ロードマップ

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定							シンポジウム・講演会開催 意識調査実施

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1							
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2							
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
(令和4年度)		
(令和5年度)		
(令和6年度)		
(令和7年度)		
(令和8年度)	企業等で活躍する女性、女性が活躍している企業の人事担当者、女性活躍を支える周囲の社員による講演・シンポジウムを開催する。 また、プログラムの効果検証及び今後の施策立案に資するため、本学学生(男女問わず)を対象としたキャリア観に関する意識調査を実施する可能性がある。	